

製品名: MAPK9 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82321**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	48.1kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK9
別名	JNK2; SAPK; p54a; JNK2A; JNK2B; PRKM9; JNK-55; SAPK1a; JNK2BETA; p54aSAPK; JNK2ALPHA
遺伝子 ID	5601.0
SwissProt ID	P45984
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAPK9 (AA: 227-382) の精製された組み換え断片。

背景

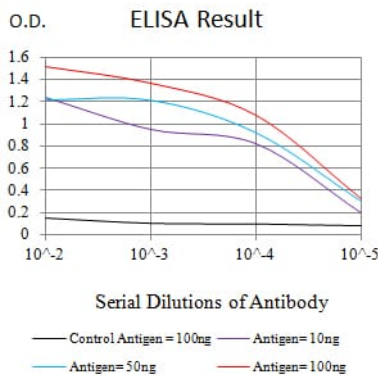
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAP キナーゼファミリーのメンバーです。MAP キナーゼは、複数の生化学的シグ

ナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、多様な細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは特定の転写因子を標的とし、様々な細胞刺激に应答して遺伝子発現を誘導します。このキナーゼは MAPK8 と最も密接に関連しており、MAPK8 と MAPK8 はともに紫外線誘導性アポトーシスに関与し、シトクロム c を介した細胞死経路に関連すると考えられています。この遺伝子と MAPK8 は、c-Jun N 末端キナーゼとしても知られています。このキナーゼは腫瘍抑制因子 p53 のユビキチン化を阻害し、ストレスを受けていない細胞における p53 の安定性を高めます。この遺伝子のマウスにおける対応遺伝子の研究では、T 細胞分化において重要な役割を担っていることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されています。

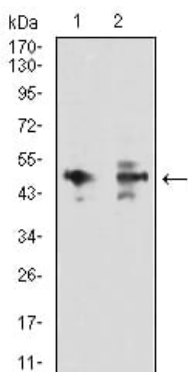
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

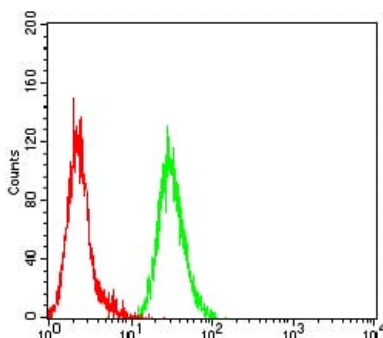
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HEK293 (1) および U251 (2) 細胞溶解物に対する MAPK9 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



MAPK9 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。

